

PTA活動紹介		高P連受付番号	
PTA(学校)名	愛知県立中村高等学校PTA	部門	ノンジャンル
活動テーマ	子どもに魚を与えるのではなく、魚の捕り方を教える 一学校をサポートする役割にとどまらず、子どもに生き方を教えるPTA-		
キーワード	文化祭	バザー	模擬店
開催日	平成28年9月10日(土) 本校文化祭一般開放日		
場所	本校会議室、及び中庭		
時間	午前9時～午後3時		
参加者	PTA理事・常任理事 約100名		
趣旨	1 PTAとして文化祭に参加することで、親自身がPTA活動を楽しむ。 2 親がPTA活動を思いっきり楽しんでいる姿を子どもに見せることで、子どもの将来に明るいイメージを抱かせる。 3 模擬店の需要において、金額、味、数量とも子ども達の満足するものを提供して、子どもには真似のできない親の力を見せる。 4 大きな成果・利益を出して、学校への寄付をする。		
活動ポイント	PTAが楽しみながら、しかし限界まで努力して成果を上げていく。		
主体委員会名・講師名等	PTA理事会・常任理事会		

【基本構成】 不要品バザー 夏休み前から家庭に余っている品を募り、文化祭で販売する。  
 模擬店 文化祭一般開放日に、食品を販売する。

【歴史をひもとくと】 不要品バザーは1997年から今年で20年目。  
 模擬店は2010年から始まり7年目。

【年間のスケジュール】

	不要品バザー	模擬店
6/7 常任理事会	バザーについての大枠を確認し、保護者案内文書を点検。	模擬店についての大枠を確認し、メニューを決める。
6/8	全校生徒・家庭に向けて、不要品を提供してもらいたい旨の文書を配布。	
6/28 研修会		調理室にて作成、試食会。
7/13	保護者会期間に、品物を集める。	
9/7 体育祭	品物に値段をつけ、会場である会議室にレイアウトする。	
9/9 文化祭1日目		食材の買い付け、調理室の準備 中庭で調理・販売場所の設置。
9/10 文化祭2日目	9時30分から販売開始、13時30分には完売。会議室の復元。	9時30分から販売開始、13時30分には完売。 終了後は、周辺の清掃も綿密に。



・関わる理事の方々が楽しく、また子ども達においしく提供できる商品選びから始まりました。  
 試作、試食をして仕入れ単価、作業性を考え商品が決まり、次に理事の方に制作しやすいよう手はず書を作りました。

【模擬店販売・不要品バザー売り上げ実績】

	H26	H27	H28
焼きそば	432食	焼きそば 859食	焼きそば 900食
唐揚げ	304食	唐揚げ 528食	唐揚げ 500食
ワッフル	300食	ワッフル 495食	団子 200食
ピラフ	300食		フランク 360食
			チュロス 300食
<b>合計</b>	<b>1,336食</b>	<b>合計 1,882食</b>	<b>合計 2,260食</b>
バザー売上	78,806円	バザー売上 73,500円	バザー売上 72,230円

★収益は同窓会基金「英気の泉」に毎年払い込みます。「英気の泉」は中村高校の国際交流事業等を支えています。



【参加者・役員の感想】

- ・制作数は限界ぎりぎりまで多くなり、理事の方には重労働でしたが、達成感はかなりのものでした。
- ・食事提供数は過去最大で、一昨年の1.7倍、昨年の1.2倍となり、不可能と言われていた食事の需要数に対して、概ね供給数を満たすことができました。
- ・一方バザーでは例年より商品の種類を絞り、出品総数を減らしましたが、それでも例年並みの利益を確保しました。

【総括】

- ・このような結果にこぎつけることが、できたのは会長がトップダウンで努力を強いたわけではなく、多くの理事による試行錯誤と工夫を重ねた結果です。
- ・バザーにおいてもこれまでの方針を変えて、売れる商品を考えて仕入れることで、効率的な販売を行うことができました。
- ・上からの指示ではなく、自ら考え自ら行動する、一言でいうなら理事の皆さんの努力の成果です。不可能と言われていたことを可能にする方法を考えて実行し、大きな利益を出し、しかもそれを皆さんが楽しんでいました。
- ・模擬店・バザーは、子どもに魚の捕り方を教える最善の場となったと思います。

